

平成12年度 第2回全体会が開催されました。

去る9月3日(日)中央公民館にて、浦安保育フォーラムの平成12年度第2回全体会が開催されました。

今回は、浦安市職員組合と保育評議会のみなさんとの懇談会がはじめの一時間半ほど行われ、活発な話し合いがもたれました。

これは、旧六園連絡会の頃を通じてはじめての試みです。5月に行われた、「ちば保育のつどい」の準備等で培われた父母会と保育士との良い関係がこうした形になりました。

保護者と保育士が子供を挟んで向かい合うのではなく、ともに手を取り合って成長を見守って行けたら・・・という想いをこれからもつなげて行きたいと思っています。

次に懇談の内容を一部ご紹介します。もっと詳しい内容を知りたい方は、各園の連絡会担当者が議事録を持っておりますので、お声をかけて下さい。

保育士のみなさんとフォーラムメンバーとの対話

出席者：内山さん・松崎さん・鶴見さん・小泉さん・おりとさん(浦安市職員組合)

吉野さん(船橋市職員組合)

対数について

浦安は、4月に定員に対して配置をしている。フリー保育士もあり非常に恵まれている。

(県) 0歳 3:1 1・2歳 6:1 3歳 20:1 4・5歳 30:1

(浦安) 0歳 3:1 1歳 5:1 2歳 6:1 3歳 20:1 4歳 25:1 5歳 30:1

保育園の整備について

・東野より前に建てられた園では、産休明けの施設が整っていない園もある。1歳過ぎた子とは、生活時間が違うので部屋を仕切ってあげたいと思っている。設備不足を補うため、保育士同士保育参観しながら努力している。

・一つのスペースで「遊ぶ・食べる・寝る」を行っているのが問題と思っている。他市では、ホールで昼寝や給食を行っているところもある。ホールにエアコンがあれば、もっと違った保育ができるだろう。(当代島以外エアコン無し)

保護者より ホールのエアコンは、要望しているがなかなか着けてもらえない。共通の要望であればもっと具体的に要望できる。

給食について

民間委託よりは、園内で連絡を取り合ってやっていきたい。特にアレルギー児への対応は、間違えては大変なのでかなりの負担になる。

保育園の数

分園については、まだ具体的な話は聞いていないが、分園は本園と合わせて基準に達していれば良いので最低『保育士2人・救急箱1つ』あればはじめる。保育園は定員一杯で、幼稚園は空教室があるので、使えるものなら使いたい。待機児も多く、どう言う形にしろ増やして行かなければならない。しかし間違った方向の分園にはしたくない。

時間外保育

時間外・土曜日に正規職員を増やすと10:30まで担任不在が増える。また、保育士自身が2重保育しなければならなくなり、難しい。

保育士から保護者へ

直接会えない人が多い。文章だけではうまく気持ちが伝わらないことも多く、行き違いになりやすい。「子供の気持ちを代弁する。」と言う気持ちが強すぎて、言葉が強くなってしまいうこともある。“働きながら育児”を経験していない保育士も多いので、分かってもらえない!と思ったら、しつこく言ってきて欲しい。

保護者 保育士に会いたいと思っても、「いつ、どこにいるか」わからないので、教えておいてくれると助かる。

各分科会の最新情報をお知らせします。

秋の署名活動について勉強会が開催されました!

去る10月22日会長会・外部交流合同で講師を招いての勉強会を開催しました。講師の先生は八千代市の須藤さん(八千代市職労保育園支部副支部長)で、八千代市での民営化問題の対する保育運動の様子や横浜の悲惨な保育の現状など興味深い内容でした。浦安においても保育園の企業参入は身近な問題となりつつあります。保育園に企業が参入してくることで、現在より保育環境が悪化することも考えられます。

すべての子供たちが、豊かな保育環境の中で育てられるように、地道な保育運動を続けて行きましょう。(東野保育園・来田)

保育アンケートご協力ありがとうございました!

同じく10月22日、対市交渉も分科会を行いました。

皆様から寄せられた、アンケートの数字部分の集計作業と意見欄の集約を行い、対市交渉にむけての要望事項を話し合いました。

お忙しいなか、たくさんのご意見ありがとうございました。

次回、11月19日(日)10:00~13:00、堀江公民館において第3回フォーラム全体会が開催されます。幼稚園・保育園の一元化について講師の先生を招き、話し合いを持つ予定になっています。幼保一元化については、松崎市長もその施策を打ち出しており、今後の動きをしっかりと見据えておく必要があります。

ご都合のつく方は、どなたでも、ぜひご参加ください。